

医学部(保健学科)

学位プログラム「検査技術科学」

学位：学士(保健衛生学)

教育目標

大阪大学および医学部の教育目標を受けて、学位プログラム「検査技術科学」では以下のとおり教育目標を定めています。

学位プログラム「検査技術科学」では、高い倫理観と豊かな人間性を持ち検査技術科学に関する高度な知識を有する医療専門職の養成を目指しています。そのための教育目標を下記の四領域に分けて示します。

- 高度な専門性と深い学識
 - 教科書や講義だけでなく実習やグループ学習などを通して基本的な医療知識のみならず先進医療のあらゆる分野に対応できる専門的な知識を教授します。
 - 講義を受動的に受講するだけでなく、自主的かつ積極的な学習を求めます。
- 教養
 - 高い倫理観と豊かな人間性を養います。
 - 健康と社会の関係を理解し、他人とコミュニケーションをとるための教養を養成します。
- デザイン力
 - 自分でものを考える能力や種々の問題を解決できる能力を養成します。
 - 将来実地臨床の医療従事者だけでなく、研究者としても活躍できるデザイン力を養います。
- 国際性
 - グローバル社会で活躍するために高度な専門知識・技術と語学力を基盤としてリーダーシップやサポートーシップが取れる人材を育成します。

ディプロマ・ポリシー

(学位授与の方針)

大阪大学および医学部のディプロマ・ポリシー(学習目標を含む)のもとに、学位プログラム「検査技術科学」では以下のとおりディプロマ・ポリシーを定めています。

(学習目標)

○ 高度な専門性と深い学識

- ・医療技術科学についての専門的知識および技能を得るために主体的かつ継続的に学習する能力を持つ。
- ・専門的知識体系を人類の文化、社会、自然に関連づけて理解できる。
- ・チームの一員として行動することができるとともに、それぞれの専門領域における方向性を示し、目標の実現のためにリーダーシップをとることができる。

○ 教養

- ・医療専門職としてふさわしい高い倫理観と人間性を身につけ、常に医療のプロフェッショナルであるという自覚のもとに使命感をもって行動できる。
- ・社会の一員としての意識を持ち、社会の発展のために積極的に貢献できる。

○ デザイン力

- ・問題を探求するための柔軟で横断的な想像力を身につけ、問題解決のための実践的な方法をデザインできる。
- ・得られた情報を客観的に整理、分析し、科学的根拠の下に論理的に考察できる。

○ 国際性

- ・自らの思考プロセスを第三者に伝達するための的確なプレゼンテーション能力とコミュニケーション能力を持つ。
- ・日本語および英語を用いて必要な情報を多面的に収集できる。
- ・専門的知識を総合的に活用しながら問題をグローバルな視点で位置づけできる。

カリキュラム・ポリシー

(教育課程の編成・実施の方針)

大阪大学および医学部のカリキュラム・ポリシーのもとに、学位プログラム「検査技術科学」では以下のとおりカリキュラム・ポリシーを定めています。

学位プログラム「検査技術科学」は、全学共通教育で幅広い知識と教養、豊かな人間性、高い倫理観を身につけます。専門課程では、検査技術科学の理論と実践を科学的に追求し、高度の専門知識・技術を総合的に教育・研究します。わが国におけるこれら分野の知的拠点として、学問的進歩を先導し、その中核を担う指導的人材の養成を目標としています。

カリキュラム全体を通じ、医療専門職としてふさわしい使命感と倫理観を自覚した医療のプロフェッショナルとして、目標の実現のために適正な医療技術の提供とそれに対する責任の持てる社会人を育成します。

具体的には、1年次と2年次の前期では、共通教育系科目として教養教育科目、基礎セミナー、言語・情報教育科目、健康・スポーツ教育科目を、専門教育系科目として専門基礎教育科目を、専門教育科目として検査技術科学序説、医療科学概論、臨床医学概論などの専門教育科目により検査技術科学の基本について学びます。

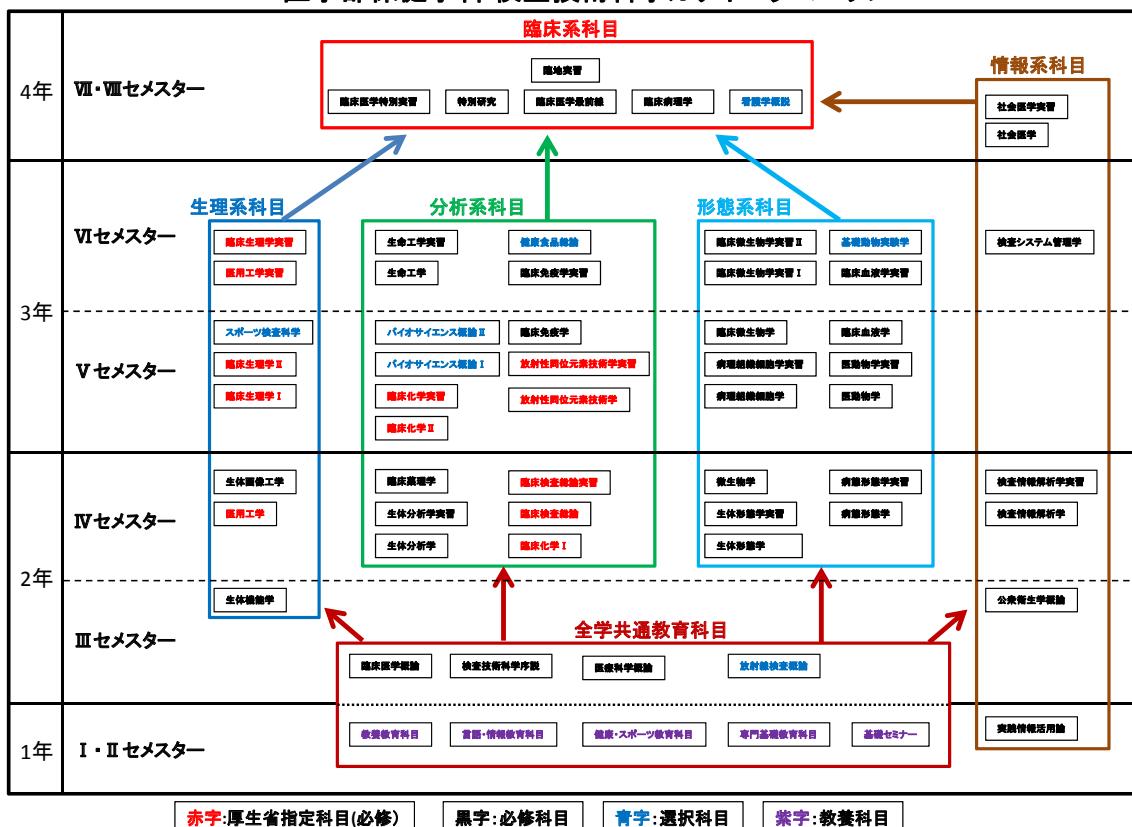
2年次の後期では、人体のはたらきとしくみ、病気のメカニズムを学びます。また検査法を理解し、開発するうえで必要な物理・化学から生化学・分子生物学までの幅広い教育も並行して行われます。

3年次になると実際の検査技術の原理と方法、さらに個々の臨床検査データの意義を理解するために臨床医学や検査診断法について学びます。

4年次では大阪大学医学部附属病院の臨床検査部と各診療科(病棟、外来)において実習を行います。ここで最新の検査技術の実際を習得し、実際の臨床の現場で臨床検査がどのように活用されているかを学びます。さらに、検査技術科学を深く理解するために、教員指導のもと課題を決めて特別研究を行い、各研究室で行われている先端的研究の一翼を担います。この特別研究は優れた臨床検査技師を育てるだけでなく、将来の教育者・研究者への道を方向づける契機にもなります。

【カリキュラム・マップ等(カリキュラム・ツリー、履修モデル)】

医学部保健学科 検査技術科学カリキュラムマップ



赤字: 厚生省指定科目(必修)

黒字: 必修科目

青字: 選択科目

紫字: 教養科目

アドミッション・ポリシー (入学者受入の方針)

大阪大学および医学部のアドミッション・ポリシーのもとに、学位プログラム「検査技術科学」では以下のとおりアドミッション・ポリシーを定めています。

学位プログラム「検査技術科学」では、実学として医療科学の専門性を高めるバイタリティー溢れる人、理論としての医療科学を追求できる教養とデザイン力を兼ね備えた人の入学を期待します。また、健康は一国の問題ではなく世界的視野にたって考えることが必要とされるため、国際的にも貢献する意欲を持った人を期待します。そして何よりも「人」に対して関心のある人、温かい目を持つ人を求めます。

その上で、下記の能力を備えた受験生を各種選抜試験により入学させます。

1. 入学後の修学に必要な基礎学力として、高校で履修する数学、理科、国語、外国語、地理歴史、公民などについて内容を理解し、知識を有している人
2. 医療、人間、教育などに深い関心を持ち、社会に貢献する意欲がある人
3. 物事を多面的に考察し、自分の考えを的確に表現できる人
4. 積極的に他者との相互理解を深めようとする態度を有している人
5. 高い倫理観と豊かな人間性を有している人

このような受験生を選抜するために、大学入試センター試験、個別学力検査(数学、理科、外国語)および面接により、総合的に判断しています。

また、3年次編入学試験や帰国生徒特別入試、私費外国人留学生特別入試など、多様な選抜方法を実施しています。